

農地を守り戦争に反対します

朝鮮半島での戦争危機が緊迫の度を深める中、安倍政権は3月25日の自民党大会で自民党改憲案を確定し、秋には改憲発議を強行することを狙っています。

歴史を画するこの時、戦争に反対し
52年「国策」を阻んできた私たちは、
来る4月1日、全国の闘いと結んで安倍
政権と対決する陣形をつくるべく、全国
総決起集会を開催します。

高瀬裁判長は農地を奪うな！

この情勢下、同盟員の専業農家＝市東孝雄さんの農地を守る闘いが文字通りの正念場を迎えています。

私たちは、農地取り上げを認めた最高裁決定にストップをかける裁判（請求異議裁判）や署名、地裁包囲デモと運動を繰り広げ、1年以上にわたって取り上げを阻んでいます。その請求異議裁判で高瀬順久（よしひさ）裁判長は、弁論打ち切りへの策動をあらわにしています。

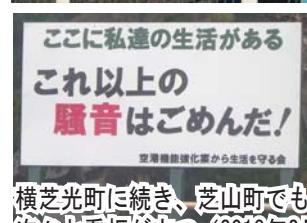
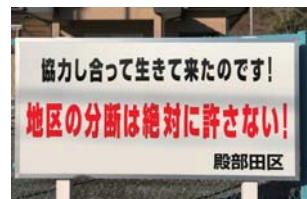


市東さんとともに、百年耕してきた農地を守る闘いの陣形をつくりましょう。署名拡大への協力を訴えます。

“大地の乱”が始まった

1月22日の施政方針演説で安倍首相は、「羽田、成田空港の容量を世界最高水準の100万回にまで拡大」「2020年までに8万回の発着枠拡大を実現」と、首都圏空港機能拡張を明言するかつてない踏み込みを示しました。

第3滑走路建設をはじめとした成田空港の機能強化案は、600戸の住民に移転を強制し、数千戸の住民に命を削る騒音被害をもたらすものです。何より戦争のための輸送・出撃基地、軍事使用がねらいです。



横之元町に続々、之山町にも
次々と看板が立つ(2018年2月)

『大地の乱』が巻き起こっています。あまりにも住民を無視した計画に、次々と怒りの声が湧き、相次いで「機能強化反対」の看板が立ち、住民が行動を開始しています。

私たちは3月4日、空港機能強化白紙撤回を掲げて、芝山町を縦断するデモ行進を行いました。

横芝光町では、住民の反対の声で町長が強化案受け入れの判断を先送りしました。連帯を広げ「絶対反対」「白紙撤回」の大反乱を巻き起こしましょう。

体を張って戦争とめよう！

声をあげ、立ち上がる時です。政治を変え、真に戦争・改憲を止める力は、「体を張ってでも止める」不屈の闘いです。私たちは、あらためて「絶対反対」「実力闘争」の旗を高く掲げて闘います。

「働き方改革」=労働法制改悪と闘う
動労千葉を先頭とした労働者の闘い、
原発再稼働反対、「帰還」攻撃と闘う福
島、辺野古新基地建設と闘う沖縄の怒
りと一つになって改憲・戦争阻止を闘
い、安倍政権打倒へ攻め上りましょう。

皆さんの参加を心から呼びかけます。
ぜひ栗山公園にお集まり下さい。

住民決起と連帶し、

機能強化案白紙撤回へ！